

地区別事業概要

事業名	農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業		地区名	まし 増井
関係市町村	茨城県 ひがしいばらきぐんしろさとまち 東茨城郡城里町		事業主体	茨城県
事業目的	本地区は、茨城県城里町の南東に位置し、一級河川藤井川流域の低平地に広がる農業地帯であり、水稻を中心とした営農が展開されている。 これまでに地区内では、農業従事者の高齢化や後継者不足により、担い手への農地集積が進みつつあるが、現況の水田区画は 10a 程度であり、農道も狭小であることから、大型機械導入の妨げとなっており、効率的な営農の妨げとなっている。また、用排水路の大半が土水路であるため営農に支障をきたしており、担い手の経営規模拡大の弊害となっている。 このため、本事業により区画整理による大区画化や用排水路、農道を整備することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、担い手への農地集積を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	54ha	169 戸	1,851 百万円	令和 3 ～10 年度
	主要工事	区画整理 54ha		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	1,596 百万円	1,451 百万円	1.09	総費用総便益方式
概要図	別添のとおり			

出典：増井地区土地改良事業計画概要書（茨城県農林水産部農村計画課作成）

概要図

農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業） 増井地区



県内位置図



凡例

凡	例
配 号	事 項
---	地 区 界
■	受用地 (水田)
■	暗 渠 区 域
—	幹線道路 (As舗装)
—	支道 I 型 (As舗装)
—	支道 II 型 (砂利舗装)
—	2 級町道 (地区内)
○	取 水 堰
Ⓟ	加 圧 機 場
—	用水路 (管水路)
—	幹線用水路 (改修)
—	幹線排水路
—	支線排水路
—	小排水路 (管水路)
—	根水処理工
—	排水樋管 (既設)
○	取 水 口
□	排 水 口

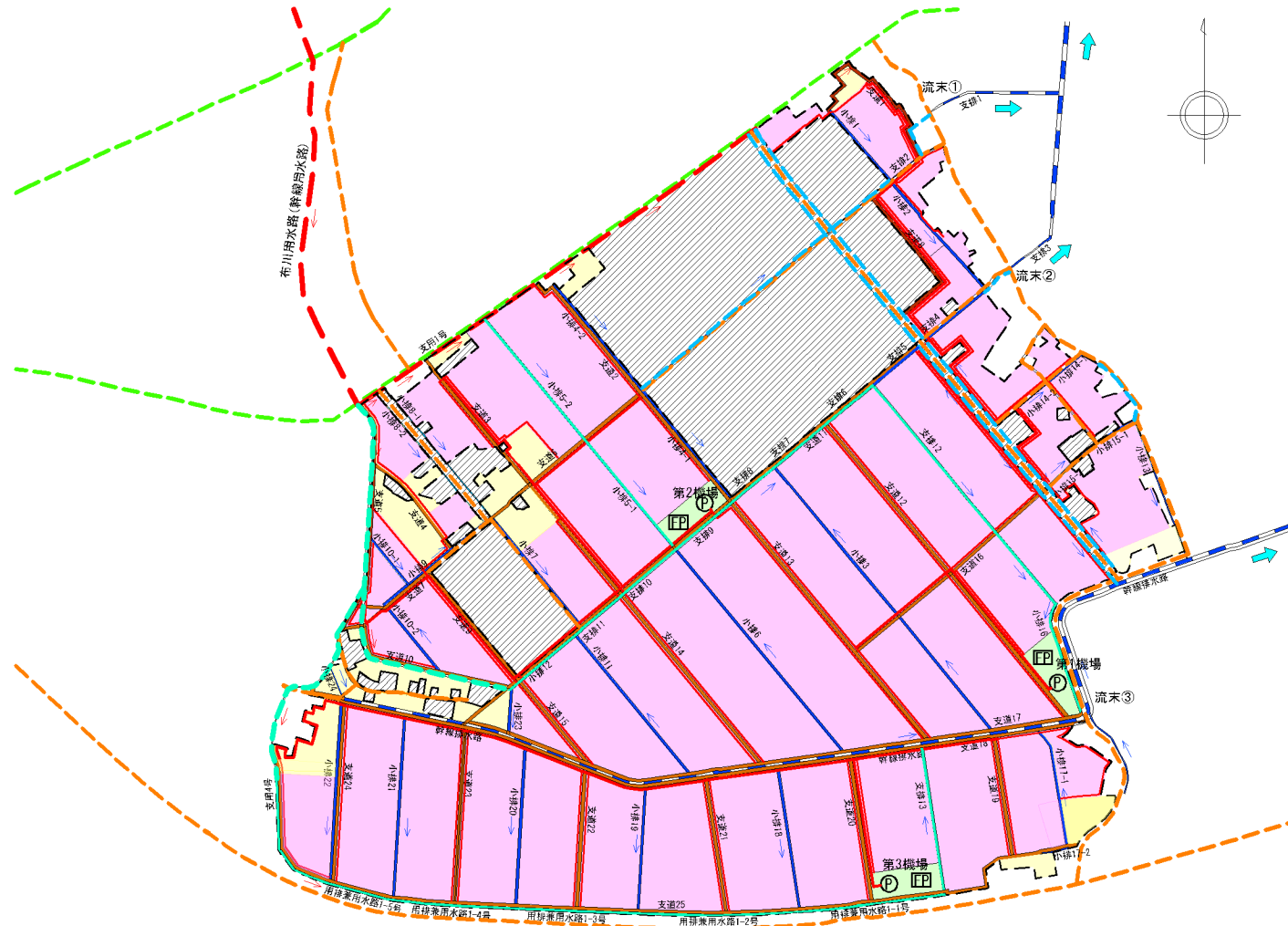
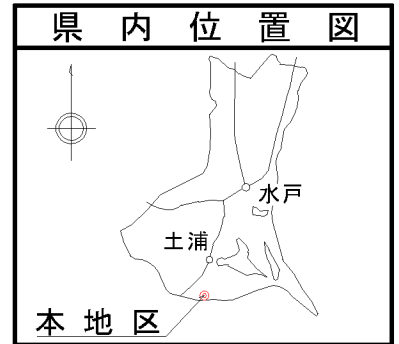
地区別事業概要

事業名	農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業		地区名	とね なんぶ 利根南部
関係市町村	きたそうま とね 茨城県北相馬郡利根町		事業主体	茨城県
事業目的	本地区は、茨城県北相馬郡利根町南部に位置し、地区南側に一級河川利根川が流れており、その左岸側に開けた平坦な地形に広がる肥沃な水田地帯にて営農が展開されている。 本地区の農地は、昭和40年代に幹線用排水路整備されているが、大半の耕区が小区画（長辺50～80m×短辺10～30m程度）若しくは未整備であり、支線道路や耕作道路は有効幅員1.8m程度と狭く、用排水路のほとんどが土水路であるため、営農作業や維持管理に多大な労力を費やしている状況である。 このため、本事業により区画整理、用排水施設、支線道路を整備することで、生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図り、担い手への農地集積の図り、本地域の豊かで競争力のある農業の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	104ha	183戸	2,197百万円	令和3～10年度
	主要工事	区画整理 104ha		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	3,613百万円	2,277百万円	1.58	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：利根南部地区土地改良事業計画概要書（茨城県農林水産部農村計画課作成）

概 要 図

農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業） 利根南部地区



凡 例

---	地区境界
▨	地区外
---	県道
▬	支線道路(A)
▬	支線道路(G)
▬	排水路
▬	排水路(既設利用)
▬	河川
→	流水方向
▬	パイプライン(送水管)
▬	パイプライン(配水管)
▬	幹線用水路(既設利用)
▬	支線用水路(既設利用)
▬	用排兼用水路
▬	用排兼用水路(既設利用)
▬	新編排水路、地区外排水路、既設利用
▬	市道(既設利用)
Ⓟ	用水機場
Ⓜ	調整池
▨	畑地
▨	水田
▨	用水機場敷地

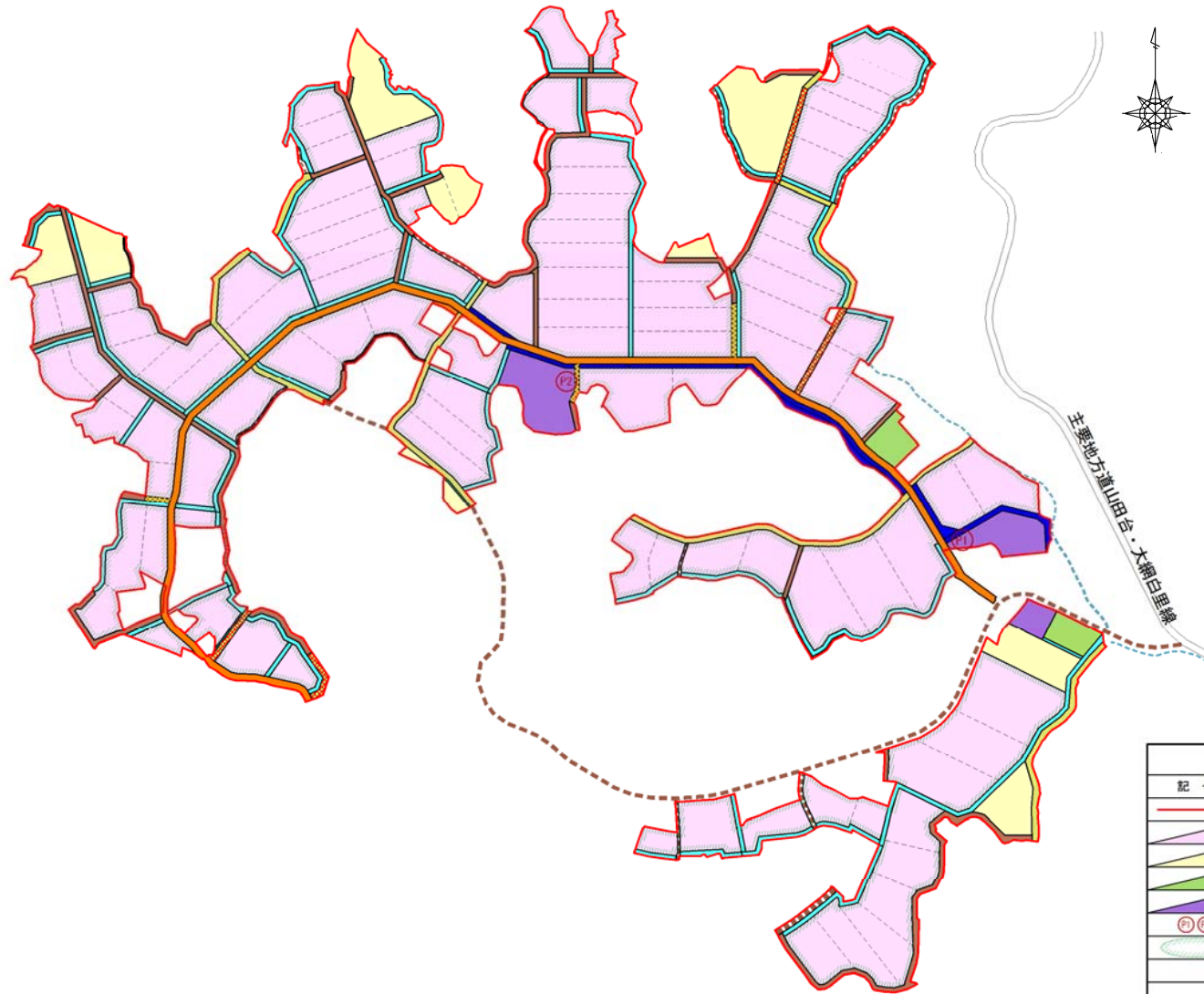
地区別事業概要

事業名	農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業		地区名	やまべ 山辺
関係市町村	千葉県 おおあみしらさと 大網白里市		事業主体	千葉県
事業目的	本地区は、千葉県大網白里市の西部に位置し、九十九里平野と丘陵部の境に展開する谷津農地帯であり、水稻をほぼ単作とした営農が展開されている。現状の農地は全くの未整備の小区画であり、農道幅員2～3mと狭小であることから、大型機械の導入ができず効率的な営農の妨げや、日常の生活道路としての機能も不足している。用水路、排水路は未整備の用排兼用水路であり水管理や維持管理に多大な労力を費やし、農業用水の確保に支障が生じるなど営農に支障をきたしている。 本事業による区画整理により生産性の高い30aほ場や道路、用水路、排水路及び暗渠排水を一体的に整備することで農作業の効率化を図り、生産性の高い農地を確保し、農地の利用集積を推し進めるなかで集落営農組合が中心となり、従来のも水稻単作から野菜を取り入れた複合経営に転換し農業競争力の強化を図るものとする。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	34ha	86戸	1,126百万円	令和3～10年度
	主要工事	区画整理 34ha		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	1,126百万円	965百万円	1.16	総費用総便益方式
概要図	別添のとおり			

出典：山辺地区土地改良事業計画概要書（千葉県農林水産部耕地課作成）

概 要 図

農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業） 山辺地区



県内位置図



凡 例			
記 号	事 項	記 号	事 項
	事業区域界		支線道路 A
	輪 換 田		支線道路 B
	畑		支線道路 B (AS)
	非農用地		耕作道路
	F P		耕作道路 (AS)
	排水機場		既設道路
	暗 渠 排 水		幹線排水路
			排 水 路
			既設排水路

地区別事業概要

事業名	農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業		地区名	こすぎ 小杉
関係市町村	新潟県新潟市 ^{にいがたし}		事業主体	新潟県
事業目的	本地区は、新潟県新潟市江南区の東側に位置し、阿賀野川流域の低平地に広がる農業地帯であり、水稻を中心とし露地野菜作物の生産が展開されている。 これまでに地区内では、担い手への農地集積が進み経営規模の拡大が進んでいるが、現況の水田区画は 20a 程度であり、農道も狭小であることから、大型機械の導入が困難であり、効率的な営農の妨げとなっている。 このため、本事業により区画整理による大区画化を行い生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	259ha	349 戸	5,593 百万円	令和 3 ～11 年度
	主要工事	区画整理 259ha		
	関連事業	県営地盤沈下対策事業 亀田郷阿賀地区 県営地盤沈下対策事業 新潟南部 3 期地区 県営湛水防除事業 新潟東部地区		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	16,384 百万円	7,521 百万円	2.17	総費用総便益方式
概要図	別添のとおり			

出典：小杉地区土地改良事業計画概要書（新潟県農地部農地計画課作成）

(全体)



地区別事業概要

事業名	農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業		地区名	あおの 青野
関係市町村	新潟県上越市		事業主体	新潟県
事業目的	本地区は、新潟県上越市の北東部に位置し、一級河川保倉川左岸に広がる農業地帯であり、水稻を中心に大豆、キャベツ等を組み合わせた営農が展開されている。 これまでに地区内では、担い手への農地集積を進め経営規模の拡大が図られているが、現況の水田区画は30a程度であり、農道も狭小であることから、大型機械導入の妨げとなるなど、集積が進まない状況にある。 このため、本事業により区画整理による大区画化や暗渠排水を整備することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、担い手への農地集積を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	85ha	120 戸	2,495 百万円	令和3～11 年度
	主要工事	区画整理 85ha		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	3,125 百万円	2,340 百万円	1.33	総費用総便益方式
概 要 図	別添のとおり			

出典：青野地区土地改良事業計画概要書（新潟県農地部農地計画課作成）

概 要 図

農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業） 青野地区（全体）

